



～SDGsとフェアトレード～ ムムム??? フェアトレードとは?

皆さん、スーパーやカフェなどで、フェアトレードの珈琲を見かけた事はないでしょうか？フェアトレードは日本においても近年身近な存在になってきている様です。フェアトレードの定義は多様ですが、フェアトレード・ラベル・ジャパンでは、『開発途上国の減量や製品を適性な価格で継続的に購入することで立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易の仕組みである。』としています。慈善活動としての始まりは1940年頃の米国。それから1960年頃になると役割を拡大していきました。また1980年に入ると、フェアトレード商品であることを見分けるために、フェアトレード認証制度が構築され、認証ラベルを付けることに発展していきます。

このラベルが付いたことによって、国際的にフェアトレードと言うブランド化に成功したと言えます。

そしてこのフェアトレードの概念は、2015年に国連で合意され、国際社会が2030年の達成に向けて取り組んでいるSDGsの考え方と合致しています。

ベルギーに本部を置くフェアトレード啓発団体フェアトレード・アドボカシー・オフィスからの報告書によれば、フェアトレードを推進することによってSDGsno17の目標のうち、以下の8つの目標の達成に貢献できるとしています。



- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1：あらゆる場所の貧困を終わらせる | 10：不平等をなくす |
| 2：飢餓を終わらせる | 12：持続可能な生産消費形態を確保する |
| 5：ジェンダー平等を達成する | 13：気候変動とその影響を軽減するための対策を講じる |
| 8：働きがいのある人間らしい雇用の促進 | 17：グローバル・パートナーシップを活性化する |



当院栄養科では、2022年度、SDGsへの挑戦として食材ロス削減への取り組みを行いました。食材料を取り扱う一人として、真剣に考えた結果、取組み前後で約36%のロス削減出来たことは誇らしく思う次第です。

その流れから、来年度（2023年度）は更に飛躍しこのSDGsに向き合って参りたいと考えています。

私がムムム?とヒラメイタことは、『ベルマーク教育助成財団』です。

特に小学生の頃は毎月1回必ずベルマークを回収していました。皆さんもその様な記憶、ございませんか？

『すべての子供達に等しく豊かな環境のなかで教育を受けさせたい』という願いでベルマーク運動は始まりました。『自分の学校の環境整備』と『お友達への教育援助』という2つの機能があります。

ベルマーク財団にベルマークを送るには登録が必要になりますが、ベルマークを整理・計算して財団に送ると1点が1円に換算されてベルマーク貯金になります。その貯金で学校に必要な教材などを【協力会社】から購入できるのです。そしてその購入金額の10%が自動的に財団に寄付され、へき地や特別支援学校、被災地学校、アジアの子供達を助けるNPOへの支援など、様々な教育活動に利用される仕組みとなっています。



いかがでしょうか？今日からでも参加可能ですよね？

寒さが一番厳しくなってます。ご自愛くださいね。

小林